

〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回 覧

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 224 (通算 542 回)

2012 年 12 月 7 日 (金)

“地域を元気に” / 大学 COC の使命——

教育研究・人財育成、そして社会事業体

高等教育活性化シリーズ 227 (通算 545 回)

2012 年 12 月 18 日 (火)

新パラダイムへのステップ・ジャンプ——

転換期の高等教育計画経営を拓く

“地域を元気に” / 大学 COC の使命——

教育研究・人財育成、そして社会事業体

～グローバル時代の“知コミュニティ”としての展開～

- ※ グローバル・協働型社会を拓く大学セクター / 地域公共人材育成と社会連携事業の展開
- ※ [明星大] 大学の立脚点 / 学部学科・教育課程・教員組織再編 / グローバル人財養成の地域協働
- ※ [静岡理工科大] “やらまいか” 教育 / 地域産学連携の先端的研究 / COC の組織的展開
- ※ [松本大] 「地域インフラ」としての教育手法 / 負荷を乗り越え学生は成長 / COC へ
- ※ [提言] グローバル・道州社会の元気と大学の責務 / 11 ブロック間のネットワーク型大学連携

● 講師陣 ●

富野暉一郎 氏 / 龍谷大学政策学部 教授 (般財)地域公共人材開発機構 理事
小川 哲生 氏 / 明星大学 学長
荒木 信幸 氏 / 静岡理工科大学 学長
住吉 廣行 氏 / 松本大学 学長
青野友太郎 氏 / 地域科学研究会 KKJ

2012 年 12 月 7 日 (金) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

新パラダイムへのステップ・ジャンプ——

転換期の高等教育計画経営を拓く

～政策シナリオの深化 / 国・公・私法人経営ガバナンス / 個別大学の選択と集中～

- ※ 大学再生へのパラダイムシフト / 19 の具体的な改革案 / 高校現場での変化 / 新たな取組み / 学生へのインパクト
- ※ 理事長・理事会の責務 / ガバナンスとマネジメント / 監事と評議員会 / 法人教学協働 / 理事長選考の透明化
- ※ 文科省「大学改革実行プラン」をどう読むか / 大学包囲網 / プランを受けて大学は何をなすべきか？
- ※ 学校法人の初源とガバナンス / 計画経営～公財源・寄附金・授業料 / 研究費と教育費 / 公財政支出の哲学

● 講師陣 ●

潮木 守一 氏 / 名古屋大学 桜美林大学 名誉教授
井原 徹 氏 / 実践女子大学 理事長
本間 政雄 氏 / 立命館アジア太平洋大学 副学長 (総務・財務・就職担当)
大学マネジメント研究会 会長
谷岡 一郎 氏 / 大阪商業大学 理事長・学長

2012 年 12 月 18 日 (火) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



[参加要領]

■ 高等教育活性化シリーズ 224 教育研究・人財育成、そして社会事業体

□2012年12月7日(金) 9:40~16:50

剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町) 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

■ 高等教育活性化シリーズ 227 転換期の高等教育計画経営を拓く

□2012年12月18日(火) 9:40~16:40

日本教育会館 会議室(東京・神保町) 千代田区一ツ橋2-6-2 TEL 03-3230-2833

<http://www.jec.or.jp/koutuu/> (東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1出口より徒歩3分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 224 教育研究・人財育成、そして社会事業体	43,000円 (消費税込)	44,000円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 227 転換期の高等教育計画経営を拓く	43,000円 (消費税込)	44,000円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。
受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替: 00110-8-81660
口座名 (株)地域科学研究会
(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2012年 月 日

■ 高等教育活性化シリーズ 224 教育研究・人財育成、そして社会事業体

□ 当日参加 □ メディア参加

■ 高等教育活性化シリーズ 227 転換期の高等教育計画経営を拓く

□ 当日参加 □ メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____ 連絡部課・担当者名 _____

所在地 〒 _____ メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類(□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 } 11:00	<p>□ グローカル・協働型社会を拓く大学セクターの進路 ～地域公共人財育成と社会連携事業の展開～ 龍谷大学 富野暉一郎</p> <p>1. グローカルな世界構造における大学の社会的機能 (1) グローバルからグローバルへ(持続可能な社会構造への転換) (2) 持続可能な社会が求める産官学民のセクター間マルチパートナーシップ (3) マルチパートナーシップと大学の社会貢献 (4) セクターの壁を越えてマルチパートナーシップを担う地域公共人材</p> <p>2. 地域公共人材育成の制度化を考える (1) 京都の戦略的大学連合における地域公共人材の提起 (2) EQF とキャップストーンを導入した国際基準適合型人財育成システムについて (3) 「地域公共政策士」制度の運用と一般財団法人地域公共人材開発機構 (4) 「地域公共政策士」の社会的展開</p> <p>3. 一般財団法人京都府北部地域・大学連携機構と地域公共人材育成 (1) 人口減少・衰退地域における地域公共人材育成と地域活性化 (2) 文科省「大学間協働教育推進事業」による大学教育改革と地域活性化の結合 (3) プロジェクトの構成と事業の事例 (4) グローカルな展開が始まった (質疑応答)</p>
11:10 } 12:30	<p>□ [明星大] 大学の立脚点と「グローバル」人材の養成 ～大学発展の基盤の一つである多摩地域の産業や公共機関との協働～ 明星大学 小川 哲生</p> <p>1. 明星大学 50 年の歴史と発展への課題 (1) 創立 30 年までの発展の方向性 (2) 急激な少子化を迎えての方向転換とこの 10 年の改革</p> <p>2. 大学組織の再編へ向けての立脚点の再認に基づく改革 (1) 学部学科の全面的改組の取り組み (2) 教育課程と教員組織の再編</p> <p>3. 「グローバル」人材養成へ向けての具体的な取り組み (1) 学部学科の取り組み (2) 附属教育研究機関の取り組み (質疑応答)</p>
13:30 } 14:50	<p>□ [静岡理工大] 地域に愛される存在感ある大学づくり 20 年 ～“やらまいか”精神に基づく創造力ある技術者の養成～ 静岡理工科大学 荒木 信幸</p> <p>1. 主体的に学び、活動する学生の育成をめざして (1) “やらまいか教育”プログラムによる能動的学修への転換 (2) 「モノから入る教育」の全学展開による応用力の育成 (3) キャリア形成教育による幅広い職業人の育成 (4) 図書館ラーニングコモンズ等による学生の相互学習の活性化 (5) 学生フォーミュラ等ものづくり課外活動の活性化</p> <p>2. 地域産業界との連携による先端的研究の活性化 (1) 先端機器分析センターの新設による微量元素分析・マッピング技術の開発 (2) 未来移動体に資する制御システム等の研究開発</p> <p>3. COC をめざした地域連携の新たな展開 (1) 「やらまいか創造工学センター」の新設によるものづくりの活性化 (2) 大学祭と地域主催の「ものづくりフェスタ」とのコラボ (3) センター利用者協議会から地域産業創成への組織的展開 (質疑応答)</p>
15:00 } 16:20	<p>□ [松本大] 「地域のインフラ整備」としての大学構築と COC ～地域貢献を理念に 10 年余、これまでとこれから～ 松本大学 住吉 廣行</p> <p>1. 地域連携を活用した帰納的教育手法 (1) 現代の学生の特徴にどう対応するか (2) 動機付け教育と自ら学ぶ姿勢への転化 (3) 課題発見・解決型学習と社会人力育成 (4) カリキュラム・ポリシーの点検・評価指標</p> <p>2. 負荷を乗り越えてこそ学生は成長する (1) カスタマーからパートナーへ (2) 学生支援の体系と地域づくり考房『ゆめ』 (3) 教職協働の意義</p> <p>3. 地域活性化と COC (Center of Community) (1) 地域の課題をどう見るか (2) 地域にはどういう人材が求められているのか (3) 地域は大学に何を求めているのか (質疑応答)</p>
16:30 } 16:50	<p>□ [提言] 地域の“知コミュニティ”の明日を拓く ～グローバル・道州社会における大学のネットワーク型教学経営～ 地域科学研究会 KkJ 青野友太郎</p>

